

改訂日 2021年9月1日
作成日 2020年6月12日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名 ルミパルス SARS-CoV-2 Ag 免疫反応カートリッジ
構成試薬 : 「抗体結合粒子」
: 「酵素標識抗体」
: 「処理液」
製品コード 260340
会社名 富士レボオ株式会社
住所 東京都新宿区西新宿 2-1-1
担当部署 お客様コールセンター
電話番号 0120-292-832
FAX 番号 03-5781-3764
緊急連絡電話番号 0120-292-832
推奨用途と使用上の制限 体外診断用医薬品
整理番号 638

2. 危険有害性の要約

「処理液」

GHS分類

健康に対する有害性：	皮膚腐食性・刺激性	区分3
環境に対する有害性：	水生環境有害性、短期間（急性）	区分1
	水生環境有害性、長期間（慢性）	区分1

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語： 警告

危険有害性情報：軽度の皮膚刺激

水生生物に非常に強い毒性

長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き：

【安全対策】 環境への放出を避けること。

【応急措置】 漏出物を回収すること。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

【廃棄】 内容物や容器を廃棄する場合は、地方/国の規制に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名又は一般名： 体外診断用医薬品

成分及び含有量

「処理液」

成分（危険有害物質）： ヘキサデシルトリメチルアンモニウム＝クロリド
(C16TAC)
化学特性（化学式等）： $C_{19}H_{42}ClN$
分子量： 320.00
CAS RN： 112-02-7
濃度又は濃度範囲： 3.5%
官報公示整理番号（化審法）： (2)-184

「抗体結合粒子」「酵素標識抗体」に共通

成分（危険有害物質）： アジ化ナトリウム (Sodium azide)
化学特性（化学式等）： NaN_3
分子量： 65.02
CAS RN： 26628-22-8
濃度又は濃度範囲： 0.095%
官報公示整理番号（化審法）： (1)-482

4. 応急措置

吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は医師の診察/手当を受けること。
皮膚に付着した場合： 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。皮膚
を多量の水で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診察/手当
を受けること。
眼に入った場合： 水で数分間、注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用し
ていて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合、医師の診察/手当を受けること。
飲み込んだ場合： 口をすすぐこと。気分が悪い時は医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤： 二酸化炭素、粉末または水噴霧。
周辺の条件に適した消火剤を用いる。
使ってはならない消火剤： 情報なし
火災時の特有危険有害性： 利用できる更なる関連情報はない。
特有の消火方法： 危険でなければ火災区域から容器を移動させる。
消火を行う者の保護： 消火作業の際は、適切な保護具を着用し、煙等を吸い込まな
いように、風上から作業する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：
適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や粉じんやヒュームの吸入を避ける。関係
者以外は近づけない。
環境に対する注意事項：
漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材：
適切な保護手袋と保護眼鏡を付けて処理する。漏えい物をペーパータオル等で拭き
取って、適切な廃棄物処理容器に入れる。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処

色	茶褐色	微黄色～白色微濁	無色澄明～微白濁
臭い	ほとんどない	ほとんどない	ほとんどない
融点／凝固点	データなし	データなし	データなし
沸点又は、初留点及び沸騰範囲	データなし	データなし	データなし
可燃性	データなし	データなし	データなし
爆発下限及び爆発上限界/可燃限界	データなし	データなし	データなし
引火点	データなし	データなし	データなし
自然発火点	データなし	データなし	データなし
分解温度	データなし	データなし	データなし
pH	7 付近	7 付近	5 付近
動粘性率	データなし	データなし	データなし
溶解度	データなし	データなし	データなし
n-オクタノール／水分配係数(log 数値)	データなし	データなし	データなし
蒸気圧	データなし	データなし	データなし
密度及び/又は相対密度	1.04	1.04	1.03
相対ガス密度	データなし	データなし	データなし
粒子特性	データなし	データなし	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性： 通常の使用であれば安定と考えられる。

危険有害反応可能性： 情報なし

ただし「抗体結合粒子」「酵素標識抗体」に含まれるアジ化ナトリウムは、銅、鉛、銀、水銀、二硫化水素と反応し、特に衝撃に敏感な化合物を生成する。酸と反応し、有毒で爆発性のアジ化水素を生成する。

避けるべき条件： 情報なし

混触危険物質： 情報なし

危険有害な分解生成物： 情報なし

11. 有害性情報

「処理液」

(成分 (危険有害物質) : ヘキサデシルトリメチルアンモニウム＝クロリド)

急性毒性： 区分 4 であるヘキサデシルトリメチルアンモニウム＝クロリドの含有濃度が 3.5% であるため区分に該当しない。

皮膚腐食性/刺激性： 区分 2 であるヘキサデシルトリメチルアンモニウム＝クロリドが 3.5% 含まれるため区分 3 とした。

軽度の皮膚刺激 (区分 3)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分 2 であるヘキサデシルトリメチルアンモニウム＝クロリドの含有濃度が 3.5% であるため区分に該当しない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性： データがなく分類できない。

生殖細胞変異原性： 情報がなく分類できない。
発がん性： 情報がなく分類できない。
生殖毒性： 情報がなく分類できない。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分3であるヘキサデシルトリメチルアンモニウム＝クロリドの含有濃度が3.5%であるため区分に該当しない。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）：情報がなく分類できない。
誤えん有害性： 情報がなく分類できない。

「抗体結合粒子」「酵素標識抗体」に共通

（成分（危険有害物質）：アジ化ナトリウム）

急性毒性： 0.1%未満含有のため区分に該当しない。
皮膚腐食性/刺激性： 0.1%未満含有のため区分に該当しない。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：0.1%未満含有のため区分に該当しない。
呼吸器感作性又は皮膚感作性：データがなく分類できない。
生殖細胞変異原性： 情報がなく分類できない。
発がん性： 情報がなく分類できない。
生殖毒性： 情報がなく分類できない。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）：0.1%未満含有のため区分に該当しない。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）：0.1%未満含有のため区分に該当しない。
誤えん有害性： 情報がなく分類できない。

1 2. 環境影響情報

「処理液」

（成分（危険有害物質）：ヘキサデシルトリメチルアンモニウム＝クロリド）

生態毒性

水生環境有害性、短期（急性）：甲殻類（オオミジンコ）の48時間 $EC_{50}=0.01\text{mg/L}$ （ECOTOX, 2008）であることから、本品での計算値が $EC_{50}=0.28\text{mg/L}$ となるため区分1とした。

水生生物に非常に強い毒性（区分1）

水生環境有害性、長期（慢性）：信頼性のある長期毒性試験データが得られておらず、急速分解性が無く（SRC: BioWin V4.10）、甲殻類（オオミジンコ）の48時間 $EC_{50}=0.01\text{mg/L}$ （ECOTOX, 2008）であり、本品での計算値が $EC_{50}=0.28\text{mg/L}$ となるため区分1とした。

長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性（区分1）

残留性・分解性： 情報なし
生物蓄積性： 情報なし
土壌中への移動性： 情報なし
オゾン層への有害性： 情報がなく分類できない。

「抗体結合粒子」「酵素標識抗体」に共通

（成分（危険有害物質）：アジ化ナトリウム）

生態毒性

水生環境有害性、短期（急性）：0.1%未満含有のため区分に該当しない。

水生環境有害性、長期（慢性）：0.1%未満含有のため区分に該当しない。

残留性・分解性： 情報なし
生物蓄積性： 情報なし

土壌中への移動性： 情報なし
オゾン層への有害性： 情報がなく分類できない。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物： 残余廃棄物は、廃棄物に関する規定に従って、医療廃棄物または産業廃棄物等区別して処理する。
汚染容器及び包装： 汚染容器及び包装は、廃棄物に関する規定に従って、医療廃棄物または産業廃棄物等区別して処理する。

1 4. 輸送上の注意

注意事項

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
輸送に際しては直射日光を避け、容器漏れのないことを確かめ、転倒、落下および損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

1 5. 適用法令

労働安全衛生法： 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物（法第57条・第57条の2、施行令第18条・第18条の2）政令番号別表第9の9号（アジ化ナトリウム）本製品は体外診断用医薬品のため該当しない。
毒物及び劇物取締法： 毒物 指定令第1条第1号（アジ化ナトリウム）本製品は体外診断用医薬品のため該当しない。
化学物質排出把握管理促進法： 第1種指定化学物質 施行令第1条別表第1政令番号第389号（ヘキサデシルトリメチルアンモニウム＝クロリド）
政令番号第11号（アジ化ナトリウム）本製品での含有率は1%未満のため該当しない。

1 6. その他の情報

主な引用文献

職場のあんぜんサイト <http://anzeninfo.mhlw.go.jp/index.html>
NITE 化学物質総合情報提供システム（NITE-CHRIP）
https://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop

記載内容については、現時点で入手できる資料等に基づいて作成したものです。すべてを網羅しておりませんので、取扱いの際には十分注意してください。